

「一笑苑の皆様の食事会」を開催しました



2月4日、狭山店で「一笑苑の皆様の食事会」を開催しました。

この会のきっかけは、昨年秋の日本経済新聞の「残留邦人・各地に介護施設」という記事です。そこにとりあげられていた埼玉県所沢市の「一笑苑」というデイサービスに通う皆様に、「食」を通じて豊かさを感じていただくことができないかという社内の発案から実現したものです。

「一笑苑」は、中国に残留孤児として残され、後に日本に帰国した方々が 多く利用している施設だそうです。皆さんは中国で育って身についた食や生活の習慣を気兼ねせずに時間や食事を楽しむことができます。

今回お見えになった皆さんは、外出ができるこの日を心待ちにしていたそうです。



こちらのテーブルの皆様は、ナポリタンを箸で食べておいででした。
グラタン・ナポリタン・カツサンドなど、日本の洋食は初めてだという方も多かったのですが、
皆さん、完食！なさっていました。



食後は、人気のパンケーキとドリンクをゆっくりお楽しみいただきました。

狭山店の店長の終了後のコメントです。

「様々のご苦勞を重ねて帰国された皆様の、ひと時の安らぎの場となれたことが私達の喜びとなりました。ちょうど開催日が春節（中国の旧正月）だったので、急いで覚えた新年の中国語の挨拶に笑顔で応えていただき、かえって私達が元氣をいただきました。」